

一、製品及び会社情報

1、製品名称

大阪魂 JISロック止玉掛ワイヤ(6×24)0/0

2、製品の規格

EN 12385-4 ワイヤロープ-安全基準	GB/T 20118 一般用途ワイヤロープ
GB 8198 重要用途ワイヤロープ	GB 8903 エレベータ用ワイヤロープ
ISO 2408 一般用ワイヤロープ	ISO 4344 (E) クレーン用ワイヤロープの基本要求
JIS G 3525 ワイヤロープ	JIS G 3535 航空用ワイヤロープ
KS D 3514 ワイヤロープ	RR-W-410G ワイヤロープと鋼より線

3、会社情報

会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M190115

二、危険有害性の要約

1、分類の名称

該当する分類は（急性毒性、爆発性、可燃性）ない。

2、危険有害性

- (1) ロープの素線切れは、接触において怪我する恐れがある。
- (2) 常温で、ワイヤロープに使用する潤滑剤大半が固定であり、該当する事項はない。但し、取扱において皮膚との接触と目との接触を最低限にすると同時に加工において発生する蒸気とヒュームに注意すること。
- (3) 本製品の加工等において（例えば、カット、研削、溶接）ダスト・ヒュームが生じる（特に、グラインダーで繊維芯入りロープ加工時は煙が出る可能性がある。）場合は、健康を損なう恐れがある。

三、成分・構成情報

1、単一の化学物質・混合物の区分：混合物(固定)

2、主な成分

(1) ワイヤロープの素線

化学名	構造式	成分範囲	CAS No.
鉄	Fe	残量	7439-89-6
炭素	C	0.39~0.86	7440-44-0
ケイ素	Si	0.15~0.37	7440-21-3
マンガン	Mn	0.30~0.80	7439-96-5
リン	P	Max. 0.035	7723-14-0
硫黄	S	Max. 0.035	7704-34-9

(2) ワイヤロープの表面或いは繊維芯にある潤滑剤

成分	CAS No.
パラフィン	8001-75-0
ポリイソブチレン	9003-27-4
鉱物油	8042-47-5

四、応急処置

1、体に怪我した場合

直に医者の手当を受ける

2、呼吸

長時間にわたって大量のダストとヒュームを吸い込んだ場合、新鮮な空気のある場所に移動し回復を待つ。
回復しない場合は、医師の手当を受ける。

3、皮膚に付着した場合

潤滑剤を付着した場合、石鹼を使い水でよく洗う。

4、目に入った場合

最低 15 分間水でよく洗う。異常があれば医師の手当を受ける。

5、飲み込んだ場合

本製品の飲み込みは基本的に考えられないが、万が一あった場合吐き出しさせずに、医者の手当を受ける。

五、火災時の処置

不燃性であり、爆発する危険性はない。但し、ワイヤロープの構成となる潤滑剤、天然繊維又は合成繊維及び充填物、包装材料は可燃性材料である。

可燃性材料は燃える時有害のヒューム、ガスが発生する場合は、大量な吸い込みを避けること。火災において、防毒マスクと消防服を着用すること。

消火剤：粉末消火剤、二酸化炭素消火剤又は砂使用すること。直接散水は避けること。周辺の火災において、通常の散水等の使用に制限はない。

六、漏出時の処置

本製品は、形状のある固定であるため該当する事項はない。

七、取扱及び保管上の注意

1、取り扱い上注意点

- (1) ロープの素線切れによる怪我に注意する。
- (2) 長時間にわたってロープに付着している潤滑剤との接触は避けること。
- (3) ダストと潤滑剤は目と接触しないこと。
- (4) 切断加工において、長時間大量なダストとガスの吸い込みを避けること。
- (5) 運送中において、製品を高いところから直接地面に落とすことは怪我に繋がる。

2、保管上の注意点

- (1) 本製品は清潔で、空気の流れが良い、乾燥した、屋根のある所、できるだけ屋内に保管すべきである。もしやむをえず屋外に置くときは、その期間を出来るだけ短くし、雨・露のかからないようにシート等で覆う。
- (2) ガス、蒸気、またはその他本製品に腐食反応を起こしてはならず、高温を避けること。
- (3) 直ちに床に置かないこと。
- (4) 包装物が濡れた場合は、直に除去する。
- (5) ドラム包装の製品においては、長時間保管する場合、常にドラムを回転させ、潤滑剤の流出を避ける。特に高温環境では、ロープから潤滑剤の流出を注意しなければならない。

八、接触の制限及び個人保護

1、取り扱い注意事項

(1) 温度

繊維芯入りロープ及び多層よりストランドロープの使用条件温度は Max で 100℃、ロープ芯入り多層よりワイヤロープ及び単よりワイヤロープの場合、Max で 200℃となる。

作業温度が100℃～200℃の場合、製品強度は10%減少の傾向があり、安全を見て荷重を減らして使用する。

使用温度が200℃を超えた場合、特殊の潤滑剤を使用する必要がある、当社及び設備の製造元と確認する必要がある。

-40℃の作業環境では、ワイヤロープの強度には不利な影響は出ないが、潤滑剤の性能低下による本製品の性能低下を及ぼす危険性がある。

(2)異常・危険状態での取扱注意点

異常・危険状態での取り扱うの場合、例えば海上及び潜在的な危険性のある荷重(溶融金属、腐食性材料或いは放射性材料)において使用の場合は、事前に評価し、適切な荷重を選定して使用する。

2、個人保護

(1) 呼吸の保護

加工において全体または局部換気扇を取り付け、作業環境におけるダストとヒュームが職業衛生保護基準を満たすこと

(2) 保護具

本製品の加工において、作業者の目に危険を及ぼす場合、保護眼鏡を着用し、溶接又は切断する際は、溶接保護具を着用、必要に応じては軍手、安全靴及びその他保護具を着用する。

(3) その他

終業及び食事前は必ず着替えし、作業現場で物を食べないこと。食事前とトイレ使用の際には、必ず手を洗い、終業後は綺麗に手を洗う。

九、物理化学的性状

1、物理的性状

外観：固体。

色：銀白色。

密度：7.85g/m³。

鋼の溶解点：1500℃以上。

2、化学的性質

水に溶けない。強酸に溶ける(塩酸、硫酸)。

十、安定性と反応性

通常不安定する。

鉄鋼材料は強酸と反応する。

十一、有害性情報

長時間にわたって金属を含有するヒュームを吸い込むと慢性中毒にかかる恐れがあり、目、皮膚、呼吸系統、中枢神経、腎臓、肝臓機能に影響する恐れがある。

長時間にわたって潤滑剤と接触すると、炎症を起こす可能性があり、目に入る場合は、刺激により炎症を起こし、吸い込みの場合、呼吸系統を刺激する。

十二、生態学情報

該当しない。

十三、廃棄上の注意

所在地廃棄処分法規による。(鋼材スクラップとしてリサイクルできる。)

十四、輸送中の注意

ワイヤロープとして該当する事項はない。

注意事項：輸送においては、無理な外力によるワイヤロープに対する衝撃を当たらないようにし、包装が損傷しないよう注意する。

十五、適用法規

ワイヤロープは有害な化学物質ではない(詳細は所在国の法規による)。ワイヤロープに塗布する潤滑剤に含まれている化学物質は REACH 指令に適用しない。

十六、その他

参考資料：EN 12385-3:2004 ワイヤロープ-安全 第三部分：使用とメンテナンス情報

本化学物質等安全データシートは、現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成しております。弊社製品を扱う事業者は、科学的な安全な取り扱いを確保するための参考情報として提供されるもので、安全性の保証書ではありません。取り扱う事業者は用途・用法に適した安全対策を講ずることが必要であることをご理解のうえご活用願います。